別紙 1

平成 29 年度広島県計画に関する
事後評価

令和 7 年 1 月
広島県

３．事業の実施状況（介護分）　※継続事業分のみ

平成29年度広島県計画に規定した事業（介護分）について、令和５年度終了時における事業の実施状況を記載。

<table>
<tr><td>事業の区分</td><td colspan="2">３．介護施設等の整備に関する事業</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td>【No.１（介護分）】
介護施設等整備事業</td><td>【総事業費】
1,691,793 千円</td></tr>
<tr><td>事業の対象となる区域</td><td colspan="2">県内全域</td></tr>
<tr><td>事業の実施主体</td><td colspan="2">市町</td></tr>
<tr><td>事業の期間</td><td colspan="2">平成 29 年４月１日～令和６年３月 31 日
☑継続　／　□終了</td></tr>
<tr><td>背景にある医療・介護ニーズ</td><td colspan="2">介護施設等の整備を支援することで，高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して生活できる基盤づくりを推進する。
アウトカム指標：
地域密着型サービス等の利用者数，利用回数，定員数
<table>
<tr><td></td><td>Ｒ元年度
実績</td><td>Ｒ７年度
利用見込数</td></tr>
<tr><td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護（人）</td><td>704</td><td>1,197</td></tr>
<tr><td>夜間対応型訪問介護（人）</td><td>113</td><td>101</td></tr>
<tr><td>地域密着型通所介護（回）</td><td>792,027</td><td>897,338</td></tr>
<tr><td>認知症対応型通所介護（回）</td><td>116,049</td><td>127,181</td></tr>
<tr><td>小規模多機能型居宅介護（人）</td><td>3,837</td><td>4,421</td></tr>
<tr><td>認知症対応型共同生活介護（人）</td><td>5,663</td><td>6,606</td></tr>
<tr><td>地域密着型特定施設入居者生活介護（人）</td><td>28</td><td>29</td></tr>
<tr><td>地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（人）</td><td>1,630</td><td>1,877</td></tr>
<tr><td>看護小規模多機能型居宅介護（人）</td><td>429</td><td>764</td></tr>
<tr><td></td><td>Ｒ２年度
定員数</td><td>Ｒ5 年度
必要定員数</td></tr>
<tr><td>介護老人福祉施設（広域型）（人）</td><td>11,689</td><td>12,553</td></tr>
<tr><td>介護老人保健施設（人）</td><td>8,928</td><td>8,710</td></tr>
<tr><td>介護療養型医療施設（人）</td><td>1,031</td><td>54</td></tr>
<tr><td>介護医療院（人）</td><td>1,621</td><td>2,778</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>事業の内容（当初計画）</td><td colspan="2">令和３年度においては，第８期介護保険支援計画等に位置付けている地域密着型サービス施設等の整備を行う。
また，介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から，感染拡大防止対策支援事業を行う。併せて高齢障害者や施設従事者向けへの広報・啓発を行う。</td></tr>
<tr><td>アウトプット指標（当初の目標値）</td><td colspan="2">・対象介護施設等の新設，増床
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための
簡易陰圧装置設置，ゾーニング，個室化
・介護職員の宿舎施設整備</td></tr>
</table>

アウトプット指標（達成値）	【令和５年度】 ○施設開設準備経費等支援事業 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所：１か所 ・介護老人保健施設へ転換：39 床 ・介護ロボット・ICT 導入支援事業：１か所 ○既存の特別養護老人ホーム等のユニット化改修支援事業 ・看取り環境整備推進事業：３か所 ・共生型サービス事業所の整備：２か所 ○新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業 ・簡易陰圧装置設置経費：16 か所 ・ゾーニング環境整備：11 か所 ・多床室の個室化改修：１か所
事業の有効性・効率性	事業終了後１年以内のアウトカム指標： 地域密着型サービス利用数，施設サービス定員数 ・観察できなかった ・観察できた　→　指標：

	R 元年度 利用実績	R4 年度 利用数＊
定期巡回・随時対応型訪問介護看護（人）	704	1,805
夜間対応型訪問介護（人）	113	228
地域密着型通所介護（回）	792,027	―
認知症対応型通所介護（回）	116,049	―
小規模多機能型居宅介護（人）	3,837	5,615
認知症対応型共同生活介護（人）	5,663	7,572
地域密着型特定施設入居者生活介護（人）	28	34
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（人）	1,630	2,159
R4.4 月 定員数（人）	―	1,682
看護小規模多機能型居宅介護（人）	429	1,012

	R2 年度 定員数	R5 年 4 月 定員数
介護老人福祉施設（広域型）（人）	11,689	12,214
介護老人保健施設（人）	8,928	8,642
介護療養型医療施設（人）	1,031	439
介護医療院（人）	1,621	2,269

＊介護予防，短期利用除く（EMITAS-G 調べ）

（１）事業の有効性

地域密着型サービス（認知症 GH，看護小規模多機能）については，市町の事業者公募が不調に終わり，令和３年度中の事業実施が困難になるなど整備が進まないサービスがあったが，施設サービスについては計画に沿った整備が進んだ。

（２）事業の効率性

市町の第８期介護保険事業計画に沿った計画的な整備を推進することができる。

その他	平成 29 年度 725,508 千円 令和元年度　 55,741 千円 令和２年度　113,002 千円

	令和３年度　286,099 千円 令和４年度　379,319 千円 令和５年度　132,124 千円